

ふたりの



町花：山百合

議会だより

6月定例会 No.140
平成29年7月20日

| | |
|-------------------------------|----|
| 国民健康保険税 2年連続で引き下げ | 2 |
| 可決した条例・予算 | 3 |
| 一般質問 町産業振興など6議員が12問 | 8 |
| 追跡レポート：スクールバス危険箇所の道路改良について... | 15 |



田植え実習 (古殿小 5年生)

引き下げ

2,999円の減額

6月定例会は、9日から14日まで、6日間の会期で開催されました。国民健康保険税条例の改正をはじめ、税条例の改正など8件の専決処分を含む22議案が提出され、農業委員会委員の任命を含め原案のとおり可決しました。

一般質問には6人の議員が登壇し、町政に提言をしました。

議案
審議国民健康保険税条例の
一部を改正する条例

保険税率の引き下げおよび低所得者に係る保険税軽減制度の拡充。保険税2割、5割軽減の判定基準額の改正により、軽減対象者が拡大します。

Q 一人あたりまた、世帯あたりでいくら位の減額になるのか。

A 平成28年度と比べて引き下げ率は約5%、一世帯あたり一万三十四円、一人あたり二千九百九十九円の減額となります。

Q 国民健康保険税の介護納付金分についてはどうして引き上げになるのか。

A 保険税の算定期間における被保険者数や負担額、医療費等の見込みを計算した結果、介護納付金分のみ引き上げとなりました。

採決

全員賛成

可決

可決した主な条例・予算

議案
審議個人番号の利用に関する
条例の一部を改正する条例

平成29年7月より個人番号(マイナンバー)を利用した情報連携開始に伴う、地方自治体の事務処理に必要な特定個人情報の提供を行ったための条例改正。

Q 地方自治体の事務処理に必要な特定個人情報の提供とは何か。

A 条例を改正することによって、個人番号法(マイナンバー制度)の規定により、町長と教育委員会の間で事務処理に必要な特定個人情報相互に提供できるようにするものです。

Q 特定個人情報とは何か。

A 個人番号(マイナンバー)をその内容に含む個人情報と個人番号法(マイナンバー制度)で定義されています。

採決

全員賛成

可決

今年の国民健康保険税

2年連続で

1人あたり平均

議案 審議

一般会計補正予算

歳入歳出を六百四十二万八千円減額し、総額五十一億三千八百五十八万二千円とするもの。主な歳入の内容は県の補助事業が採択となったため、竹貫区街路灯のLED更新など、コミュニティ助成事業の補助金二百五十万円の増額。歳出では、4月の降雨により崩落した林道の維持補修工事三百五十万円の増額となっています。

人事案件

農業委員会委員の任命に同意

- 仁瓶 弘一 (仙石字清水)
- 水野 一男 (大久田字下大久田)
- 塩田 武雄 (山上字宝ノ沢)
- 水野 和徳 (論田字中ノ町)
- 吉田 育市 (田口字寺前)
- 矢内 光義 (山上字岩久保)
- 野崎 達哉 (竹貫字池ノ内)
- 矢吹 孝夫 (松川字前木)

任期は平成29年7月20日～平成32年7月19日

※公募受付順

(敬称略)

提出した意見書

◎「テロ等組織犯罪準備罪」を創設しないことを求める意見書

発議者 岡部 淳一 議員

国民の思想や良心の自由の制限につながる重大な問題を含んでいるため、テロ等組織犯罪準備罪を創設しないよう意見書を提出します。

討論

反対

緑川 栄一 議員

この法案に対する国の説明が不十分で、国民が困惑しているのは理解できませんが、国際的な安全や日本国民の生命身体財産を確保するために、組織的犯罪と犯罪の準備行為を取り締まる法律を整備することは必要と考えます。

採決

賛成 4
反対 7

否決

| 反対 | 賛成 |
|--------|--------|
| 野崎 | 鈴木 (昭) |
| 藁谷 | 岡部 |
| 緑川 | 木戸 |
| 鈴木 (一) | 関根 |
| 佐藤 (弘) | |
| 矢内 | |
| 佐川 | |

会の活動

総務常任委員会

町民第1体育館建設工事現場の調査を行い、担当課および工事関係者から工事の進捗状況等についての説明を受けました。その後、旧論田小学校の施設の状況について調査しました。



工事が進む町民第1体育館



利活用が待たれる旧論田小学校

常任委員

産業建設常任委員会



町道越代熊倉線の進捗状況を確認



ワイヤーメッシュ事業とコミュニティ助成事業の聞き取り

ふくしま森林再生事業横川桑原地区森林整備事業と町道越代熊倉線道路改良工事の調査を行い、担当課から工事の進捗状況等についての説明を受けました。

その後、有害鳥獣被害対策のワイヤーメッシュ事業および竹貫区の街路灯改修工事へのコミュニティ助成事業について、各担当課から説明を受け、課題等について意見を交わしました。

◎有害鳥獣被害対策「ワイヤーメッシュ事業」

電気柵は管理が困難な場所で効果が十分に発揮されないため、代わりの対策として「ワイヤーメッシュ柵」の敷設に取り組むこととしました。

この事業は地区単位での補助となるため、今回はモデルとして田口字青柳地区が選定されています。

◎「コミュニティ助成事業」

宝くじの社会貢献事業として、様々なまちづくり事業に助成されるものです。

今年度は、竹貫区所有の街路灯などの電球がLED化されます。

過去にも各地区で助成事業が活用されており、来年度の募集については区長会で説明される予定です。



全員協議会

旧古殿保育所の活用整備検討や古殿町経営戦略（簡易水道・下水道事業）などについて6月9日に開催された全員協議会で報告されました。



利活用が検討された旧古殿保育所



いつまでも生き生きと

旧古殿保育所の活用 整備検討

旧古殿保育所を、高齢者世帯の冬期間の居住交流施設として活用するために、調査検討の報告を受けて、今後の事業の方向性について、全員協議会で協議されました。

古殿町経営戦略 （簡易水道・下水道事業）

将来にわたって簡易水道事業・農業集落排水事業・林業集落排水事業のサービス提供を安定的に継続することが可能となるよう、中長期的な経営健全化に向けた基本計画が策定されたため、その内容について説明・協議が行われました。

古殿町公共施設等 総合管理計画

人口減少を踏まえて、公共施設の状態を把握し、長期的な視点から更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政負担を軽減・平準化する管理計画が策定されたため、その内容についての説明が行われました。

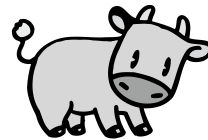
専決処分された補正予算

| 会計区分 | 補正額 | 補正後の予算額 | 採決 |
|---------------------------|---------------|----------------|------------------|
| 平成28年度一般会計第6次補正予算 | ▲ 49,486,000円 | 4,871,301,000円 | 全 員 賛 成 |
| 平成28年度簡易水道特別会計第4次補正予算 | ▲ 139,000円 | 97,420,000円 | |
| 平成28年度農業集落排水事業特別会計第4次補正予算 | ▲ 2,639,000円 | 73,175,000円 | |
| 平成28年度林業集落排水事業特別会計第2次補正予算 | ▲ 687,000円 | 22,096,000円 | |
| 平成28年度介護保険特別会計第4次補正予算 | ▲ 229,000円 | 694,270,000円 | |

専決処分された条例の改正

古殿町税条例を改正する条例

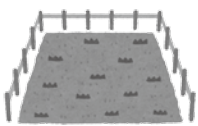
百万円未満の子牛を売ったときに非課税となる措置が3年延長します。



燃費の良い車の自動車税を軽くし、一定年数を経過した車の自動車税を重くする措置が2年延長します。



平成28年4月1日以後に起きた震災で住めなくなった土地の固定資産税を、4年間は住宅用地として課税します。



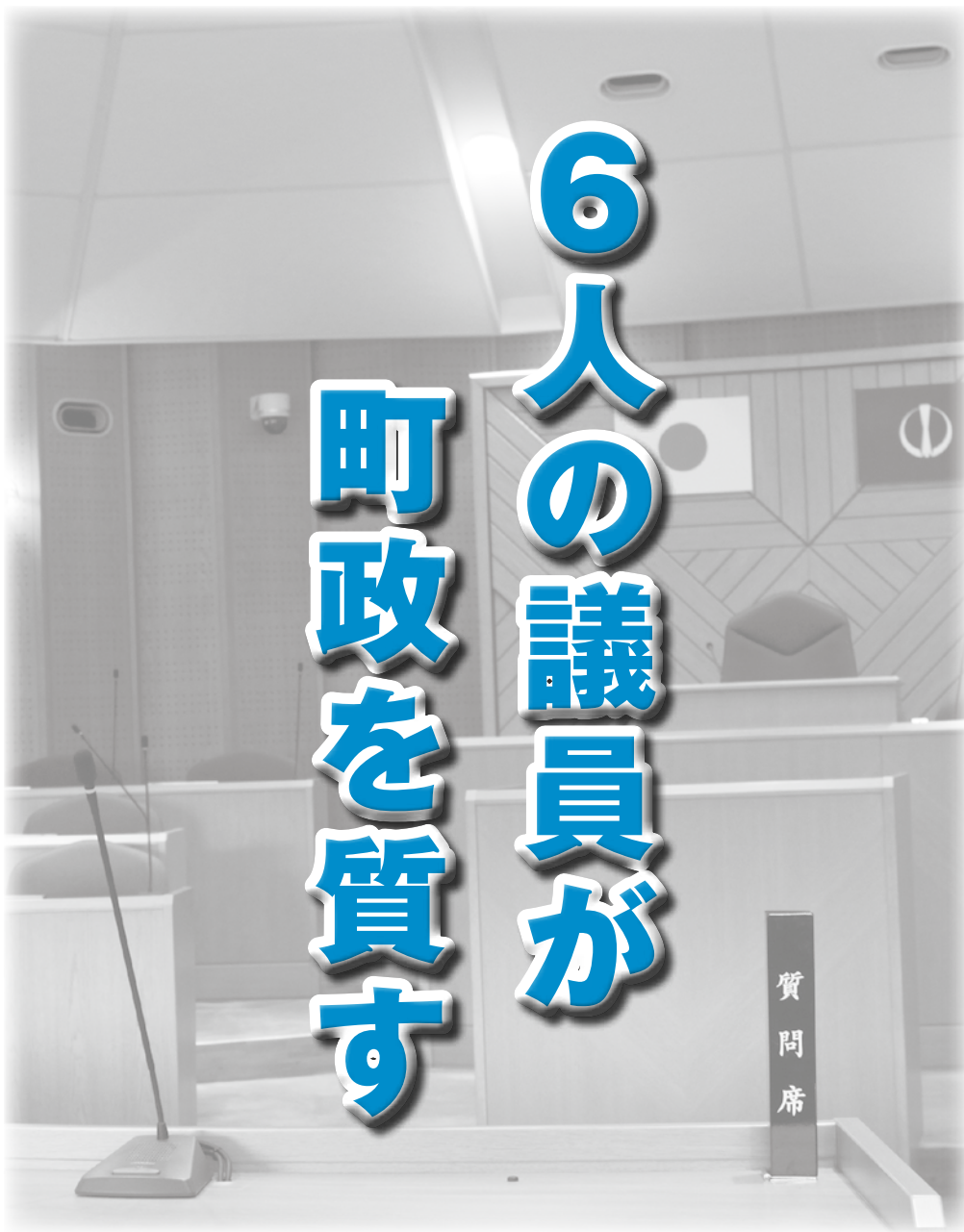
議会議員の活動



憩いの森公園周辺の草刈り (6月21日)



町村議会広報研修会 (5月22日: ビッグパレットふくしま)



町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをたずねる

一般質問

野崎 喜彦 議員 9
 (1) 町民の安全確保対策は
 (2) 学校における食育の推進と健康管理は

緑川 栄一 議員 10
 (1) 森林環境整備と林業の振興計画は
 (2) 住宅建設支援事業は

藁谷 直吉 議員 11
 (1) 知名度向上のために「ふるどの桜街道」の名称を変更しては
 (2) 役場のロビーとおふくろの駅周辺にコミュニケーションの場を設置しては ほか

佐藤 弘信 議員 12
 (1) 大豆ミートの今後の取り組みは
 (2) 陳情・要望の取り扱いは

岡部 淳一 議員 13
 (1) 国保事業の広域化は
 (2) 簡易水道事業と飲料水確保の在り方は

佐川 勇司 議員 14
 (1) ドローンの活用は



のざき よしひこ 野崎 喜彦 議員

町民の安全確保対策は

デジタル方式への移行はコストを考慮する

町長

近年、「今まで経験したことのない大雨」などによる土砂災害や大洪水の発生危険が懸念されています。更に、北朝鮮の相次ぐミサイル発射は憂慮すべき事態であり、「新たな段階の脅威」であります。こうした現状に鑑み危機管理上、災害発生からの危険排除、不測の事態の際の安全確保を図るためには、情報の発信源である防災行政無線の運用の万全と整備の充実・改善が求められています。



緊急時の情報発信源となる防災無線

野崎 防災無線のデジタル方式への移行計画はいつですか。

町長 総務省が進めるシステムのコストダウンへ

の取組みを見極めながら検討します。

野崎 現在のシステムで全世帯、全町民への緊急時の情報周知は万全か。

町長 屋外では難聴地域もありますが、家庭用の個別受信機で周知されています。

野崎 全国瞬時警報システムの受信・発信に支障はないですか。また、情報伝達・避難訓練を実施すべきと考えますが。

町長 「J-ALERT」のシステムに問題はない。また、避難訓練は4年に1度実施しています。

野崎 地区ごとの避難場所や危険箇所を明示した防災情報看板を街頭や公

近年、食生活を取り巻く社会環境の変化に伴い子供の食生活の乱れや健康悪化が懸念されており生活習慣病は、偏った栄養摂取や不規則な食生活との関連が指摘されています。望ましい食習慣の形成と合わせて「食育」は生きる上の基本で「知育」「体育」「徳育」の基礎となるものです。

野崎 「食育基本法」の中の「食育推進計画」などの定めはありますか。

町長 平成25年3月に「健康ふるどの21」を策定しています。

野崎 朝食欠食は、学力と体育等に関係が深いと指摘されていますが、現状把握とその指導の経緯はありますか。

教育長 年に2回実施される県の「朝食について見直そう週間運動」で調査しています。家庭科の授業、外部講師による食育指導、米作り体験等で食育の充実を図っています。

野崎 学校給食体制に対

学校における食育の推進と健康管理は

「健康ふるどの21」を策定し、食育指導を図っている

町長・教育長

共施設に設置すべきと考えますが。

町長 町民への周知と意識づけを図る上で有効と考えます。

野崎 災害時の停電にはラジオによる情報収集が

有効ですが、当町は受信困難地域が多いです。解消のための方策を検討すべきと考えますが。

町長 国や県から情報を集めながら、実現可能な手段を検討する考えです。

学校給食で、当町の材料はどのようなものが使われていますか。また、その割合はどのくらいですか。

教育長 給食の量やメニューに関する要望があります。

野崎 学校給食で、当町の材料はどのようなものが使われていますか。また、その割合はどのくらいですか。



朝食は学力・体育の向上に関連深い

教育長 町の食材は、米、味噌、野菜などでおふくろの駅を通して納入しています。割合は古殿町と鮫川村の児童・生徒の割合を目安にしています。



みどりかわ えいち
緑川 栄一 議員

森林環境整備と林業の振興計画は

本年度、間伐128ヘクタールと

19岐の路網

町長

古殿町は、総面積の82%が森林面積で、杉を主体とした人工林になっております。木材価格の下落により、林業・製材業も衰退し、国・県の補助金がなければ林業経営も成り立たないのが現状です。そこで次の点について伺います。

緑川 林道及び路網整備計画は。

町長 平成27年度から10年間の古殿町森林整備計画を定めております。

これによれば、基幹路網の整備として、新設が7路線16・7岐、拡幅改良が9路線5・6岐、拡幅舗装が3路線、4・9岐を予定しております。

緑川 国・県の森林環境整備事業計画は。

町長 造林補助事業においては、本年度128ヘクタールの間伐と19岐の路網開設等が計画されております。

また、ふくしま森林再生事業においては、本年度50ヘクタールの間伐等が計画されております。



いわき市場までの積み込み運搬状況

れております。
緑川 間伐等の事業計画と進行状況は。

町長 毎年、200ヘクタールの間伐を目標にしております。進行状況については、過去5年間で、1年当

たり102ヘクタールから148ヘクタールの実績となっております。

緑川 公設市場等の設置計画は。

町長 現在具体的なものはございません。

住宅建設支援事業は

今後検討してまいりたい

町長

緑川 平成29年度当初予算において、移住定住促進事業として町外からの移住者に対する補助制度が新設され、定住人口の拡大につながることが期待されております。町内在住者の若者世代や、住

宅の新築等を計画する方々に対する新たな住宅建設支援事業を新設すべきと考えます。

町長 町内在住への支援につきましては、今後検討してまいりたいと考えております。



宅地造成箇所



わらがや 直吉 議員
なおよし 直吉 議員

知名度向上のために「ふるどの桜街道」の名称を変更しては

「ふるどの桜街道」の周知を
継続していきたいと考えます

町長

【藁谷】 ふるどの桜街道を知名度向上のためのネー

ムバリューに変更すべきであると思っておりますか。

【町長】 コスモス街道から受け継ぎ、ふるどの桜街道と命名し、周知を図っているところであり、今

後も継続したいと考えております。

【藁谷】 観光キャラクター「やぶさめくん」を、特許庁に商標と意匠を登録

して保護すべきであるとして

思っておりますか。

【町長】 今後、検討したいと考えております。

【藁谷】 町内飲食店で開催する同窓会で「大豆ミート加工品」を使用した場合、補助すべきであると思

うがどうか。

【町長】 大豆ミートに関わらず、町内で開催する同窓会への支援について、

今後、検討したいと考えております。



町のアイドル やぶさめくん

役場のロビーとおぶくろの駅周辺に
コミュニケーションの場を設置しては

高齢者のコミュニケーションの場と
して利用いただくのが可能です

町長

【藁谷】 役場のロビーとお

ぶくろの駅付近に、高齢者のコミュニケーションの場の設置を検討すべきであると思

うがどうか。

【町長】 役場のロビーは、役場利用者のみならず、福祉バスを利用する高齢

者もコミュニケーションの

場として利用していただくことが可能であります。

また、おぶくろの駅は、将来的には、立ち寄る方が飲食や休息できるスペースの設置が必要であると考えてます。

【藁谷】 高齢者のために、住民票等申請記載台を椅

子で記帳できるように改善、また庁舎の西側通路段差を解消すべきと思う

がどうか。

【町長】 高齢等により座って記入される方には、窓口カウンターの椅子の方へご案内しております。

西側通路段差の解消については、高齢者等の現場での状況を確認したうえで、検討したいと考えております。

【藁谷】 古殿町郷土文化保存伝習施設に保存してある16ミリフィルム、ビデオテープなどを後世に伝えるために、新しい記録媒体で保存すべきと思うがどうか。

【町長】 郷土文化保存伝習施設に残る記録媒体は多数あり、今後、内容をよく確認しながら、新しい記録媒体への保存を進めたいと考えております。



千本以上の桜が咲き誇る桜街道（鯉川河川敷）



おかべ じゅんいち
岡部 淳一 議員

国保事業の広域化は

県が安定的財政運営などに
ついて中心的役割を担います

町長

国保事業の県への移管
について何度となく伺っ
ていますが、県において
も試算が始めています。
そこで、生活実態の中で
一番重税となっている国保
事業について、次の点を
伺います。

岡部 県との協議は行わ
れたのか。県から伝えら
れた広域化の概要は。

町長 県との協議は、連
携会議とワーキンググ
ループで行います。町は
この会議の委員になってい

ないものの、県では文書
による意見を聴取してお
り、町は意見を述べてお
ります。また、概要は県
が安定的財政運営、効率
的な事業確保などについ
て中心的役割を担います。
町は賦課徴収のほか実情
に応じた事業を行います。

岡部 町の事務量は大幅
に軽減するののか。

町長 事務の多くは町が
負担するため事務量は大
きく減ることはありません
。



暮らしを守る国民健康保険

岡部 保険税の試算結果
は。

町長 まだ示されていま
せん。

岡部 保険税が高くなっ
た場合はどう対処するの
か。また、県に意見は言
えるののか。

町長 広域化に伴い国保
税の負担が急激に増加す
る市町村は、県が設置す
る特例基金を活用し、激
変緩和措置をとります。
県への意見は、連携会
議やワーキンググループ、
文書照会等で確保される
ものと考えています。

岡部 町の国保基金の使
い方はどうなるののか。

町長 広域化後の基金は
県が設置します。当町の
基金の取扱いは、今後の状
況をみながら検討します。

簡易水道事業と飲料水確保 の在り方は

給水管の布設費用はあくまで
受益者の負担

町長

町の簡易水道事業に関
する10年間の方向性が計
画として示されましたが
町でも飲料水問題は町民
生活の第二義的な性質の
ものとして取組んでいま
す。そこで、この計画内
容に関連する飲料水事業
について伺います。

町長 その状況により検
討したいと考えておりま
す。

岡部 平成28、29年度に
飲料水確保申請と補助該
当は何件あったのか。

町長 平成28年度は11件
の申請があり、すべて補

助金を交付しました。今
年度は、現在のところ4
件の申請があり、すべて
交付決定しています。

岡部 簡易水道エリア内
からの飲料水に関する相
談はあったか。どう対処
したのか。

町長 町の簡易水道に加
入したいが、給水管を布
設するために多大な経費
がかかる旨の相談があり
ました。これに対し、町
からは、給水管の布設費
用はあくまで受益者の負
担となることを説明しま
した。

町長 両者は、県道改良
に関連する事業です。

岡部 新規のエリア拡大
は行わないとしているが、
10年間の計画期間の中で
要望と必要性が出た場合
はどう対処するののか。

町長 いわき石川線の改
良工事に併せた本管布設
替えと、当面の3年間は
集中していわき石川線の
本管布設替えを行うとし
ていることは、別事業と
しての取組みか。



生活に欠かせない飲料水



さかわ ゆうじ 議員
佐川 勇司

ドローンの活用は

積極的に活用する

町長

ご存知の通りドローンとは無人飛行できる航空機です。手のひらサイズから大型軍用用まであり、広範囲に渡る分野での活躍や経済効果が世界各国で期待されています。

今月6月1日に種子島から宇宙衛星『みちびき』が打ち上げられました。これによりJPS機能誤差が約15センチ前後から数センチ以内に探知可能と報道されました。これで、さらにドローンの活用が大きく展開すると思えます。

わが町でも今年、ドローンが導入されました。越代のサクラ・ふるどの桜街道の開花状況をインターネットで動画配信するなど、大盛況の活用と想います。

今後、農林業・鳥獣被害対策・測量調査・緊急時の対応など、さまざまなドローン活用が期待されます。そこで次の点について伺います。



▲ ドローンで撮影された越代のサクラとふるどの桜街道 ▶

佐川 第一点目 町観光資源の情報発信等に今後ドローンの活用をどのように考えますか。

町長 本年度、ドローンを活用して越代サクラ等を紹介したところであり、今後も観光資源の情報発信にドローンを積極的に活用してまいります。



佐川 第二点目 農薬散布・農作物の成長管理・農耕地・山林の調査・測量などのドローン活用の取り組みは。

第三点目 日本猟友会は鳥獣の生育調査をドローン活用で動き出しています。

わが町もイノシシ調査・捕獲、サギやカワウ対策（巣に偽卵を置く）にドローンの活用はどうか。



町で導入されたドローン

第四点目 危険箇所の調査・測量、また、自然災害・緊急時の確認・調査・救助へのドローン活用は。

町長 第一点目から第四点目につきましては、農林業・鳥獣被害対策・危険箇所対策・自然災害・緊急時対応などへのドローン活用は、調査・研究しながら、こうした活用に向けた検討をしてまいります。

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ スクールバス危険箇所の道路改良について

Q 平成26年9月一般質問から

道幅が狭く、車がすれ違うのも大変な町道小川内・小作線の改良計画は。

A 町長答弁

路線としての改良計画はないが、部分的な改良が必要とされる箇所と、認識しております。



子どもたちの安全のために

その後の
対応

平成29年度より町道・小川内小作線(百目鬼地内)の工事が始まります。



道路改良工事が着工予定の百目鬼地内



平成26年時のスクールバスが通るには狭い町道



しみもっちー

平成27年の中学生議会で提案されて誕生した「凍み餅」のキャラクター

通学がより安全になるね！

みんなのページ

No.31

今回紹介するのは、「宝NOUEN」の塩田武雄さんご夫妻です。

*どのようなきっかけで始めましたか。

両親が稲作と養蚕農家でしたが、私はJA勤務をしていました。長年、集約栽培に興味を持っていたため、子どもたちの教育も済んだ頃、一大決心をして、10年前に退職しました。

友人たちの協力のもと、田口地内に12棟のパイプハウスを導入、クリスマス時期から初夏までのいちご栽培と、夏秋のミニトマト栽培、そして直売用のハウスを設置し、自宅の山上から田口へ毎日通勤。妻と2人、専業農家となりました。

*宝NOUENを始めて、印象に残っていることを教えてください。

いちごもミニトマトも土耕栽培で、竹パウダーを使用するなど試行錯誤しました。深緑色の葉の間からつき出したいちごの白い花は、まるでかざしをさしているようで、見ていてとても気持ちのいいものです。

「味がいいね」と言ってくれるお客様の声は苦労を忘れさせてくれます。原子力発電所の事故では風評被害を受け直売に大きな影響を受けましたが、今では県内外へと贈ってくれる多くのお客様に感謝しております。



*これからの抱負を聞かせてください。

毎年、同じ作業でも天候などにより、形も味も変わってしまいます。変わらぬ「おいしい」の声に応えられるよう、日々の作業に従事しながらも、楽しい農業を続けるとともに、私たちももうすぐ高齢者ですので、体調管理に注意しながら、お客様を大切にしていきたいと思っています。

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

9月 上旬

古殿町のホームページからご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ

ふるどの議会だより 第140号
平成29年7月20日発行

16